

## 電気こたつは安全に正しく使用してください

### うたた寝中に低温やけど

#### 事例

こたつでうたた寝をしていたら、低温やけどを負った。(平成20年3月 長崎県)

#### 原因

うたた寝中に、ヒーターの網に長時間触れていたため低温やけどを負ったものです。

こたつやゆたんぽなどで長時間、同じところが触れていると低温やけどをおこしますので、注意してください。

ふとんをこたつの中に押し込んで使用すると火災等の原因になりますので、気を付けてください。



### こたつふとんが焼けた

#### 事例

こたつを使用中、こたつふとんの一部が焼けた。(平成21年1月 大阪府)



#### 原因

ふとんがヒーターの網に触れる状態で使用していたため、ヒーターからの熱でこたつふとんが焼けたものです。

#### 低温やけどとは？

比較的低い温度(44℃~50℃)でも長時間にわたって皮膚の同じところに触れていると筋肉などが壊死するために「低温やけど」をおこします。

「低温やけど」は痛みは弱いですが、実際は皮膚の深い部分にやけどをおこして皮下組織が壊れたりして、植皮手術が必要になることがあります。

### 液漏れでやけど



#### 事例

携帯扇風機にアルカリ乾電池を入れて使用していたら、液漏れを起こし漏れた液で太ももにやけどを負った。(平成20年8月 愛媛県)

#### 原因

逆に装てんしてしまったために1本の乾電池が充電されて発熱し、乾電池の内部に発生したガスで安全弁が作動して電解液が漏れたものです。



乾電池の+と-を確認して正しく装てんしてください。また、新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。乾電池から漏れ出た電解液は化学やけどをおこす可能性があるため、直接触れないようにしてください。

#### 化学やけどとは？

酸、アルカリなどの化学薬品によるやけどは熱によるやけどとは違います。見た目は普通のやけどのようですが、化学薬品を除いても皮膚の深い部分に進んで深いやけどになります。

## 電気カーペットの取り扱いに注意してください

### コントローラーから焦げたにおい

#### 事例

電気カーペットが温かくならず、コントローラーから焦げたようなにおいがした。(平成20年12月 栃木県)

#### 原因

カーペット本体に大きなシワがあり、ヒーター線どうしが触れて発熱して過熱状態になり、ヒーター線と温度感知機がショートしてヒューズが溶けた際に焦げたにおいがしたものです。



シワのある状態で使用しないでください。感電や故障の原因になります。収納時等は取扱説明書に従って、シワにならないようにしてください。コントローラー一部にイスなどを乗せたり、本体にタンスを置くなど、重いものは置かないでください。

### コード部分から発火

#### 事例

電気カーペットの使用時、「パチッ」と音がしてコード部分から発火し、近くに置いていた衣類の一部が焦げた。(平成21年12月 東京都)

#### 原因

プラグの刃に曲がりやコードの被膜に傷がみられたことから、コード付近にもの踏みつけたり置いたりしていたために断線し、火花が飛んだものです。

このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。

